

縁~つながり~

-私的な個室と公的な共有空間がつながる-
-日本の空間と外国的な空間がつながる-

縁側を持つスーパー全球シェアハウス「Super Global Sharehouse」は世界中の人達との縁（つながり）を広げる

中と外のつながり
縁側を全体に設けることで中と外に一体感を出して、内外をつなげる。
開放的な窓などを設けることで外とのつながりを不明確的にする。

日本と外国のつながり
各国の伝統的なものを並べることで日本の空間がグローバル共有空間になる。

—デザインコンセプト—

建物の要素

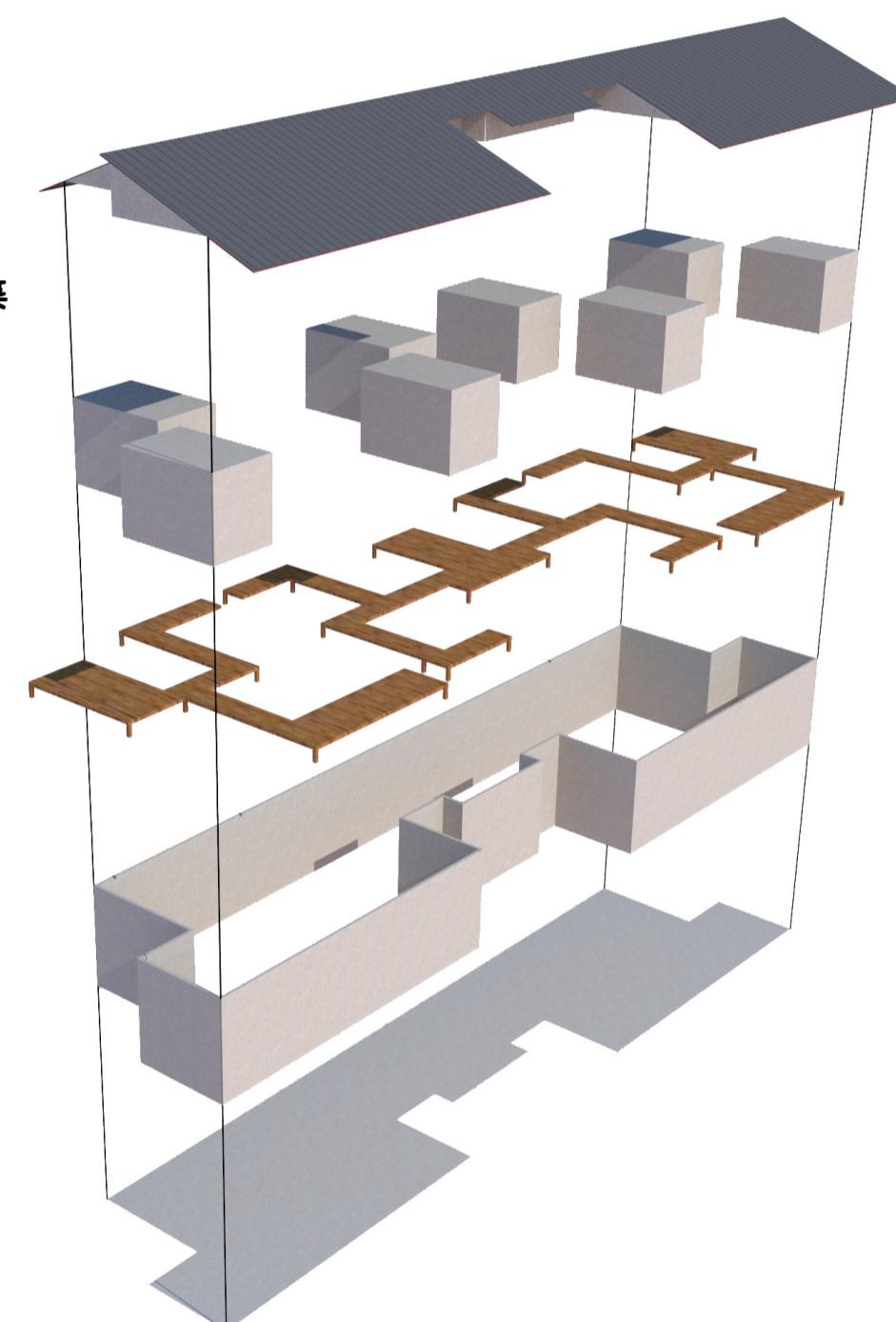
高めの屋根を架けることで開放的な共有空間の構築

プライバシーを確保する居室

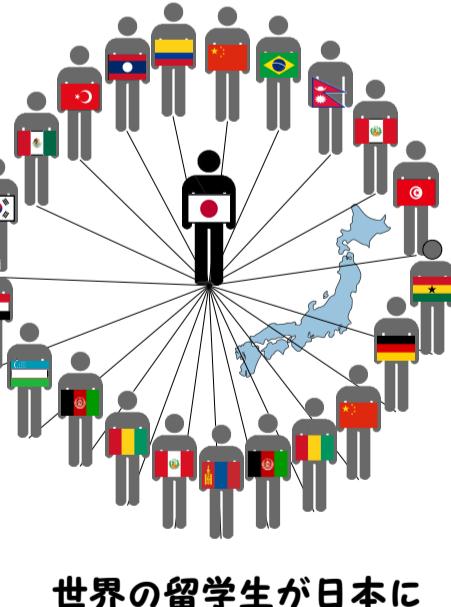
建物につながりをつける縁側

建物を構成する外壁

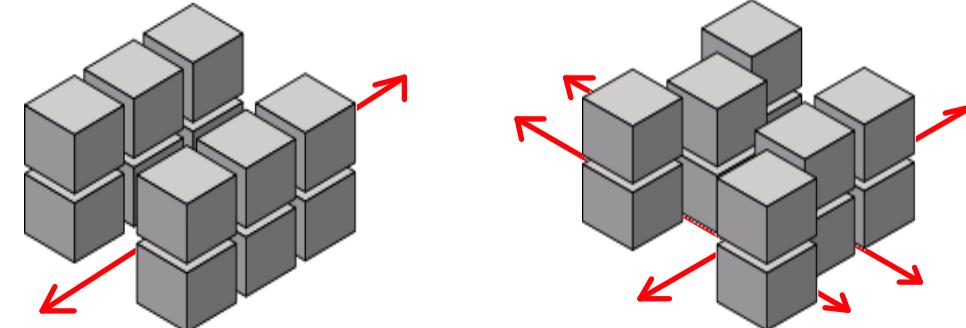
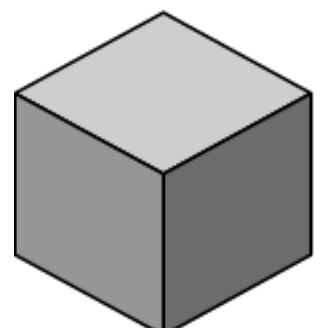
共有空間のメインである土間



豊橋技科大は学校全体でグローバル化を推進しており国際力高いキャンパスを目指すために世界中から多くの留学生を積極的に受け入れている。



世界の留学生が日本に集まって集合体となる。



世界の人が集まつた一つの集合体のキューフとなり、
そのキューフをつながりを持たせながら縦横に切り、道、路地裏と様々な道を形成した。
そして今回の住宅の軸となる配置にたどり着いた。



日本にとって当たり前のことが外国にとって当たり前でないことが多い中、外国人が自分の国を出て生活することはそう容易ではない。
住宅を例にしてみると、日本は玄関があつてそこで靴を脱ぎスリッパに履き替えて生活するか、裸足で生活をする。
とある国では常に靴を履いておりベッドの上まで靴を履き、寝る直前に靴を脱ぐ国もあるようだ。その対称的な文化を持つ人間同士が共同で生活を行うことは容易ではない。
そこで伝統的な日本住宅に多く用いられている土間と縁側を設けることで靴を履いても使用でき、履かなくても利用できる。
そのような対称的な文化をつなげることができ、共同で生活を行うことが可能である。



全体パース